

**YAMAHA**

4サイクルトレール

MOUNTAIN TRAIL

**SEROW225**



**SEROW**

**YAMAHA**

**225**



# THE HEART OF WILDE





# RNESS 大いなる自然の懐へ、 さらなる一步を踏み込むために。

偉大なる大自然。その懐に抱かれたとき、人は誰よりも自由になれるという。厳しくもやさしい、その大自然のなかへ、より深く、さらに親しく届け込みたい。そんな人々の望みに応えて、この一台は生まれた。マウンテントレール、セロー225。トレールケモノ道での新しい“楽しさ”を拓く、山の道具の誕生だ。トレール(ケモノ道)を往くために、力強い中低速のトルクを重視した、4ストローク223ccエンジン。確かに前へ進むために、810mmという低いシートや、マシンを保持するハンドルスタンド。マウンテントレール、セロー225。さあ、大自然のなかへ出かけよう。大地の懐であなたは、自分が他ならぬ自然であることを、改めて感じるに違いない。





# RNESS

## 厳しいウイルダネスの地形を、自在に駆ける。セロー225。 この一台はまさに「カモシカ」だ。

### ウイルダネスを、駆ける、曲る、止まる。 セローは野生動物のパワーを得た。

マウンテントレール、セロー225。より深く大自然のなかへ入り込み、自然の恵みを全身で享受するために、このマシンの開発は始まりました。未舗装路(オフロード)だけでなく、トレール(ケモノ道)を駆けるためには、野生動物のそれに匹敵するタフな心臓が必要です。そこでセロー225のパワーユニットには、力強いトルクと幅広いパワーバンドを実現するために、4ストロークOHC単気筒223ccエンジンを採用。20ps/8,000r.p.m.の最高出力と1.9kg-m/7,000r.p.m.の最大トルクを獲得しました。しかもセローのエンジンで特筆すべきは、全回転域にわたって発生する太いトルク。その実現に一役かっているのが、キャブレターです。

レスポンスに優れた強制開閉式VMキャブレターは、 $\phi 26$ という大径のものを採用。しかもフルレンジセッティングを施し、平地から標高の高い山岳地帯まで、安定したキャブレションを発揮します。さらにコースティングエンリッチャーも採用し、エンジンプレーキ使用時などにも安定した燃焼をもたらすなど、トレールを確

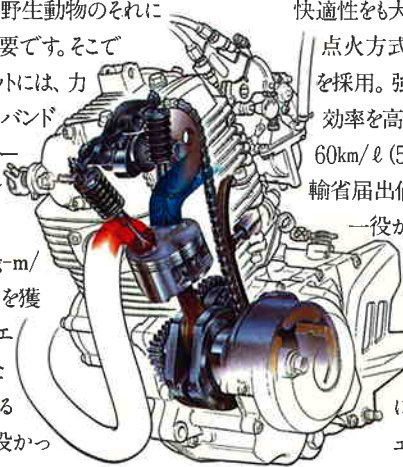
実に前へ進むための、  
トルキーで、



扱い易いエンジン特性を獲得したのです。さらにこのパワーユニットには、一軸式ダイナミックバランサーを内蔵。重量増となる補強材を省くことができ、車体の大幅な軽量化を達成。同時に快適性をも大いに高めました。エンジンの

点火方式は電子進角式C.D.I.点火を採用。強力で確実な点火は、燃焼効率を高め、力強いトルク特性とともに60km/ℓ(50km/h定地走行テスト、運輸省届出値)という低燃費の実現にも一役かっています。一方、ミッションはワイドレンジの6速。幅広いパワーバンドを誇るエンジン特性とあいまって、トライアル的な走行をも容易にしました。また、オートカムチェーンテンショナーなどのメン

テナンスフリー設計に加えて、対摩耗性に優れた焼結チップ使用のロッカーアームを採用するなど、耐久性対策も十分に施しています。トレールで待ち受けるあらゆる状況に、臆することなく、思うがままの取り組み方ができる。つまりライダーの信頼に値するポテンシャルとフレキシビリティ、そして信頼性を兼ね備えた、セローのためのパワーユニットが実現したのです。



### 遅く、かつしなやかでなければ、 大地を相手にできない。

トレール(ケモノ道)という自然の地形を舞台とするセロー225。足まわりは、パワーユニットに勝るとも劣らない重要なファクターだといえるでしょう。セロー(ヒマラヤカモシカ)の名に恥じない、カモシカの足を持っていないければ、ケモノたちの道を駆けることはできません。そこでヤマハではセロー225のフロントに、軽量・高剛性 $\phi 36$ の大径薄肉インナ

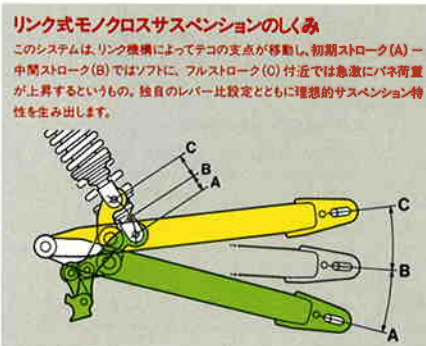
ーチューブを使用したセミエア式フロントサスペンションを採用。リヤにはヤマハが誇るリンク式モノクロスサスペンションを搭載しました。このリンク式モノクロス

サスペンションは、リヤアームとクッションユニットの間に、リレーアームとコネクティングロッドで構成されるリンク機構を配置した。初期ストロークではソフトに、強いショックに対しては底付きのしにくい腰のあるフィーリングでサスペンションが働くという、理想的サステイナブルな特性を發揮します。この独創のリンク式モノサスを、ヤ

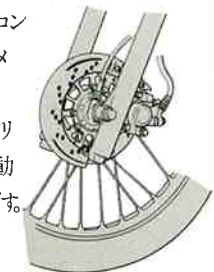
マハではセロー225のためにリンク接点位置を新しく設定。1,350mmというマウンテントレールに最適のホイールベースを実現しました。さらに5段階調整可能のダンピングアジャスターに加え、減衰力温度補正機構も内蔵。ハ

ードな連続走行時においても、ダンパーオイルの粘度低下による減衰力の変動が少なく、安定したクッション特性を發揮するリヤサスペンションとしました。ホイールトラベルは、フロント225

mm、リヤ190mmとひとクラス上の数値を実現。理想的サステイナブルな特性とあいまって優れた乗り心地と、群を抜くトレールでの走破性を獲得しました。一方、セロー225では、車体のコンパクト化を徹底。51度という大きなハンドル切れ角などとあいまって、軽快な取り回しをライダーにもたらしめています。また、フロントフォーク摺動部にデュメタルを採用。ステアリングはテーパローラーベアリングで支持するなど、作動性に対する配慮も十分です。



**リンク式モノクロスサスペンションのしくみ**  
このシステムは、リンク機構によってテコの支点が移動し、初期ストローク(A) - 中間ストローク(B)ではソフトに、フルストローク(C)付近では急激にバネ荷重が上昇するというもの。独自のレバール比設定とともに理想的なサステイナブルな特性を生み出します。



さら  
マウ  
トレ  
オフ  
能が  
対処  
マシ  
かした  
は施  
●トレ  
形です  
姿勢  
ればな  
ロー22





足を離さ、手を使い、マシンとともに前進する。モトクロスやトライアルとはまた違った、自然との一体感、前進することの満足感がそこにあります。マフンテントレール、セロー225、ライダーのための「登山靴」として、



# SEROW 225

MOUNTAIN TRAIL

## SEROW(セロー)

カシミール、ネパール、中国などの山岳地帯をその住処とし、厳しい地形を縦横無尽に駆け回るヒマラヤカモシカ。セロー225はそのカモシカから名を受けた。タンクサイドのロゴマークは、カモシカの足の跡り高きシンボルだ。

●フレームは軽量・高剛性の高張力鋼管ダイヤモンドフレーム。フットレスト部分をフラットサイド化。しかもブレーキペダル、ロッドやリンケージ機構はフレームの内側に配置。一切の突起がなく、くぼしでのマシンコントロールが容易になりました。



量をもつ角型ハロゲンヘッドランプを採用。タコメーターを廃したシンプルなメーター類とともに、メンテナンスの容易な小型ヘッドランプ

●キーロック式タンクキャップ採用のフュエルタンクは7.6ℓ。スリムなのはもちろん、マシンをホールドしやすく、かつライディングポジションの自由度を拡げる形状です。

カウルに収まります。

●ハンドルスタンディングは、最もこのマシンを特徴づける装備。とにかく確実に前へ進むために、手でマシンを持ち上げる場合を想定したヘビードューティーなハンドルを、車体の前後3ヶ所に設けました。さらにリヤのそれはフラッシュランプガードも兼用。機能的な一体型テールランプとともに、このマシンのポテンシャルを見る人に強く印象づけます。



●岩や段差からダメージを受けにくい幅狭タイプの軽量アルミムとともに、フロントには細身2.75-21、リヤには超ワイドトレッド120/80-18のリムセイバータイヤを採用。走破性を大きく高めました。また、ハンドル切れ角は51度。トレールでのUターンも苦になりません。



●確実に前へ進むためには、足着き性も重要なポイントです。セロー225はサスペンションストロークやシートの肉厚を犠牲にすることなく、810mmの低いシート高を実現しました。

にもダメージを受けにくいシンプルな構造です。また、フラッシュランプスイッチにはプッシュキャンセル式を採用。操作性に対する配慮も怠りありません。

●サイドスタンドは、トライアラーと同様リヤアームにセット。プッシュ等への引っかかりを極力少ないものとした。また、万一の転倒時にもダメージを受けにくい設計です。

●強度に優れた高張力鋼管製のシンプルハンドルバーに加えて、サイ



万一の転倒時、マシンを引き起こすのに苦労した経験を持つライダーも多いはず。相手にする地形が過酷であればあるほど、そんな機会も増えるでしょう。ハンドルスタンディング。この小さな装備が、あなたを大きな自然の懐へと導きます。

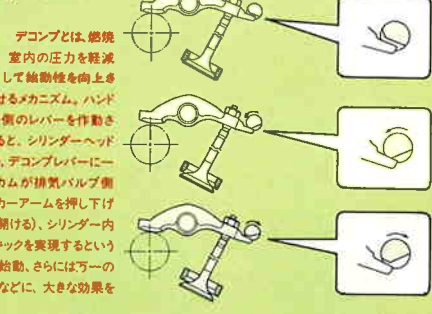
## これだけの機能を持たねば、マフンテントレールとは呼べない。

ケモノ道)を駆け回るセロー225。だからオフロードマシンの機能に加えて求められる機能的な要素があります。トレールでのあらゆる可能性に

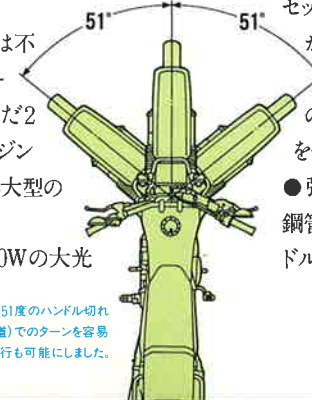
、それだけでトレールの原点、シンプルさを活かしたマシンづくりを、ヤマハで実現しました。

### セミオートデコンのしくみ

デコンとは、総燃室内の圧力を軽減して始動性を向上させるメカニズム。ハンドル側のレバーを操作させると、シリンダーヘッド内の、デコンプレッサー内の、デコンプレッサーに一体のカムが排気バルブ側のロッカーアームを押し下げ(排気バルブを開ける)、シリンダー内の圧力を抜き、軽いキックを実現するというもの。容易なエンジン始動、さらには万一の転倒時の生ガス抜きなどに、大きな効果を発揮します。



●トレール走行には不可欠のエンジンガード。しかもエンジン側面までガードする大型のものを採用しました。



●小型ながら30/30Wの大火

トライアル・マシンにも比肩する、51度のハンドル切れ角。幅員の狭いトレール(ケモノ道)でのターンを容易にするばかりか、トライアル的走行も可能になりました。





この写真は、プロフェッショナルライダーのテスト走行を撮影したものです。一般公道ではムリな走行をせず、安全な運転をしましょう。

# SEROW225

- 標準現金価格 ¥329,000  
(北海道および沖縄を除く)
- ホワイト/フォレストグリーン
- ホワイト/ファイヤーレッド

新しいバイクの買い方です。簡単な手続きもわずかな頭金があれば最長20回までの分割払いで、お好みのバイクがすぐ手に入るし、月々の支払い方法もお好み次第。幾通りものコースから自由に選べる便利です。

**手続きかんたん**  
**支払いらくらく**  
**ヤマハ**  
**らくらくクレジット**



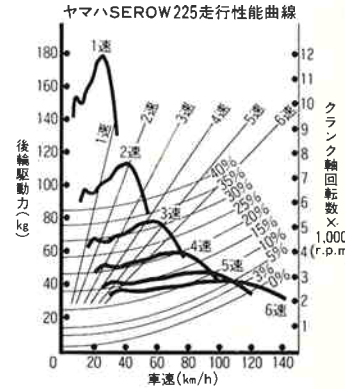
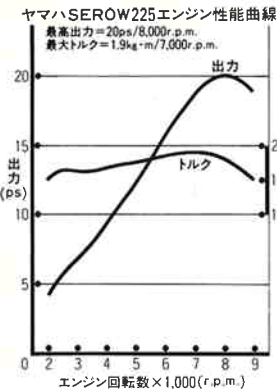
ヤマハライディングスクール(YRS)に参加しませんか。  
●安全運転の基本や、正しいライディングテクニックを身につけるために、YRSで学んでみませんか。●全3コース。基礎的な技術を確かなものにするオンロードコース、中・高速走行のトレーニングを主体とするサーキットランコース、オフ走行の技術を培うオフロードコースがあります。●国際A級ライダーやヤマハ安全運転推進本部インストラクターが実践的なテクニックや安全の心を楽しく指導します。●お申込み、お問合せは、YRSのマークのあるお近くのヤマハスポーツ店へ。



バイクライフを大きく広げる  
Y.E.S.S. Y.E.S.S.に、参加しませんか。  
●Y.E.S.S.(イエス)とは、YAMAHA EARTHLY SPORTS STAFFの略。モーターサイクルがプレゼントしてくれる限りなく大きな遊びの世界を、もっと積極的に楽しもうと生まれた新しいクラブです。●特典もいろいろ。入会のお申込み、お問合せは、Y.E.S.S.のステッカーのあるY.E.S.S.加盟店へどうぞ。

XT225仕様諸元		制動停止距離	14.0m (50km/h)	点火方式	C.D.I.	変速機形式	リターン式6段
機種コード	1KH	エンジン種類	4サイクル	燃料タンク容量	7.6ℓ	要速比	3.309/2.000/1.428/1.125/0.925/0.793
全長/全巾/全高	2,055mm/825mm/1,160mm	気筒数配列/総排気量	単気筒/223cc	エンジンオイル容量	1.3ℓ	フレーム形式	鋼管ダイヤモンド
軸間距離	1,350mm	内径×行程	70.0mm×58.0mm	潤滑方式	強制圧送ウェットサンプ	キャスト/トレール	26°30'/102mm
シート高/最低地上高	810mm/285mm	圧縮比	9.5:1	バッテリー容量/型式	12V3Ah(10)/GM3-3B,FB3L-B	タイヤサイズ/前/後	2.75-21-4PR/120-80-18-62P
乾燥重量	102kg	最高出力	20ps/8,000r.p.m.	1次減速機構/減速比	ギヤ/3.318(73/22)	油圧式ディスクブレーキ	前
燃費/定地走行テスト値	60.0km/ℓ(50km/h)	最大トルク	1.9kg-m/7,000r.p.m.	2次減速機構/減速比	チェーン/3.000(45/15)	制動装置	後
最小回転半径	1.9m	始動方式	キック式	クラッチ形式	湿式多板	機械式ドラムブレーキ	

●燃費は定められた試験条件のもとでの値です。従って走行時の気象・道路・車両・整備などの諸条件によって異なります。●本仕様は予告なく変更することがあります。●仕様変更などにより、写真や内容が一部実車と異なる場合があります。●ポディカラーは印刷のため、実物と異なって見える場合があります。



●ホワイト/フォレストグリーン



●ホワイト/ファイヤーレッド

HAVE A NICE RIDE!

ナイスライディングをよろしく、

ヘルメットを正しくかぶりましょう。

点検・整備を忘れずに。

安全のため改造はやめましょう。安全速度で走りましょう。無理な追い越しは避けましょう。カーブではスピードをひかえめに、よく見る、よく見られることに努めましょう。早朝・夕暮れは早めにヘッドライトの点灯を、ヤマハライディングスクールで、正しいライディングテクニックをマスターしましょう。

ヤマハ発動機株式会社  
〒438 静岡県豊田市新貝2500  
TEL.05383(2)1111



8507-50D①-011036